



Japan Business
Association

JBA Annual Report

2008-2009

Japan Business Association
NYU STERN School of Business

2009 年 5 月

スポンサー企業 各位

この度は、私ども NYU Stern Japan Business Association（以下、「JBA」）をご支援いただき誠に有難うございます。JBA Annual Report 2008-2009（以下、「本レポート」）は、平素よりお世話になっておりますスポンサー企業様に JBA の 2008 年秋学期乃至 2009 年春学期（以下、「今年度」）の活動状況をご報告させていただくため作成したものです。

昨今の金融危機は、その震源地である New York に所在する NYU Stern の MBA 学生に大きな影響を及ぼしています。とりわけ、MBA 学生の採用やサマーインターンシップ受け入れの縮小は、アメリカの金融機関に限らず全業種・全世界に広がっており、当校学生のリクルーティング活動に深刻な影響を与えております。客観的な当校学生の就職状況のデータは開示されておきませんが、本レポートを書いております 2009 年 4 月末現在でも、リクルーティング活動を継続しているクラスメートを数多く目にします。また、今回の金融危機をうけて、当校の授業にも変化が見られ、現在進行形で議論されている金融機関の Bail out、会計基準、市場規制等やこれらに関連するケース・スタディがしばしば授業で取り上げられております。本年 2 月から 3 月にかけては、「The Financial Crisis of 2007-2009 : Causes & Remedies」と題する金融危機の様々な問題を取り上げた特別講義が急遽設置されましたが、当校学生の金融危機に対する関心は極めて高く、400 人超の定員がわずか一日で定員オーバーとなるなど、人気を博しました。

こうした厳しい経済環境の中、私ども JBA をご支援頂きまして、改めて感謝申し上げます。スポンサー企業の皆様のご支援のお陰で、今年度、私ども JBA は、その活動の幅をさらに広げることができました。今後とも、Stern Community における日本の産業・経済・文化のプレゼンス向上、及び日本における NYU Stern の認知度・知名度向上という二つのミッションの実現のため尽力していく所存ですので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本レポートでは、私ども JBA の活動内容とともに、当校に在籍する日本人学生の人数や傾向についてもご報告させていただきます。ご参考にしていただけますと幸甚です。

NYU Stern JBA オフィサー一同

目次

1. JBA について
 - 1.1. JBA の概要
 - 1.2. JBA オフィサー及び会員数
 - 1.3. 本年度の主な JBA イベント一覧（予定含む）

2. 主要イベント報告
 - 2.1. Japan Trek 2009
 - 2.2. Global Business Conference (GBC)
 - 2.3. 企業講演会 (JBA Speakers Series)
 - 2.4. New York Market Conference (NYMC)

3. 当校日本人学生の傾向
 - 3.1. 当校日本人学生数の推移
 - 3.2. 当校日本人学生のリクルーティング活動
 - 3.3. 日本人アプリカントのキャンパス・ビジット対応
 - 3.4. JBA ブログの開設

4. （ご参考）NYU Stern のランキング

5. スポンサー企業様一覧

1. JBA について

1-1. JBA の概要

JBA は NYU Stern の 40 の学校公認学生クラブの一つです。公認学生クラブはその活動の内容により、企業関連イベントを企画する Professional Club、文化・スポーツイベントを企画する Sports & Social Club 及び各地域をテーマとしたイベントを企画する Community Club に分類されており、JBA は Community Club に該当します。JBA は Community Club の中で、唯一、国の名前を冠するクラブであり（その他の Community Club は Asian Business Society、Stern in Africa 等、地域ごとに組織されています）、規模（メンバーの数）の面では比較的小さい組織ですが、今や学内最大のイベントとなっている Japan Trek の他、企業関連・文化関連の多種多様なイベントの企画・運営を行っております。

JBA は、①Stern Community における日本の産業・経済・文化の普及、プレゼンスの向上、及び②日本における NYU Stern の認知度・知名度の向上、とりわけ日本人アプリカントに対して積極的に情報発信を行い、当校へのアプライ数、日本からの学生数を増やすこと、をミッションとして掲げており、これらのミッションに則り、活動を行っております。

1-2. JBA オフィサー及び JBA 会員数

表 1:今年度の JBA オフィサー

ポジション	名前 (卒業予定年)
President	Akira Matsumoto (2009)
Executive Vice President & VP of Career Development	Ohki Murai (2009)
VP of Career Development	Tom Wong (2010)
VP of Treasurer	Julie Ha (2009) Evan Ritt (2010)
VP of Corporate Relations	Yoichi Yamasaki (2009) Tomokazu Kobayashi (2010) Takeshi Otsu (2010)
VP of Event	Satoru Ogawa (2009) Chris Money Penny (2009) Koki Masuhara (2010) Laura Brown (2010)
VP of Marketing communications	Ryota Kato (2009) Hiro Hayano (2010) Jiyun Jennifer Yoo (2010)
VP of Community Relations	Kyle R. Okamoto (Part-time)

	Akira de Freytas (2010)
VP of Alumni relationship	Kelly Henry (2010)
VP of Japan Trek	Yuki Arai (2010)
VP of Part-time	Paul Landerman (Part-time)

JBA は日本人だけのクラブではありません。実際、2009年4月末現在、JBA の活動を中心となって支えるオフィサーは20名おりますが、そのうち約半数は日本人以外で構成されており、Diversity に富んだチームとなっております。各オフィサーがそれぞれのバックグラウンドを生かし、イベントの企画や日常のクラブ活動の運営を行っております。

JBA の登録メンバー数は1学年あたり40人強のレベルで推移してはりましたが、増加傾向にあります。Stern Community におけるJBA の知名度は、近年、確実に高まっております。

表 2: JBA 登録メンバー数の推移

卒業年次 (予定含む)	2006	2007	2008	2009	2010
Native Japanese	4	7	6	4	6
Non-Japanese	33	29	33	48	104
Others(Part-time)	6	13	15	17	14
Total	43	49	54	69	124

* 登録メンバーには、JBA オフィサーも含まれます。

1-3. 本年度の主な JBA イベント一覧 (予定含む)

(2008年)

- 9月 Class of 2010 入学、新メンバー加入
リクルーティングミーティング
(=日本人2年生による1年生向け就職相談)
- 10月 Officer Kick-off Meeting
- 11月 Asian Business Society との交流会
- 10-12月 Recruiting Events

(2009年)

- 2月 Global Business Conference
New York Market Conference
- 3月 企業講演会: Rick Katz 氏による日本経済セミナー
Japan Trek
Sake Tasting

- 4月 企業講演会: Sagent Advisors による M&A セミナー
- 5月 LinkShare 飯田社長とのケーススタディ・ディスカッション (予定)

2. 主要イベント報告

本章では、本年度、JBA が主催したイベントのうち主要なものを紹介させていただきます。本年度の活動の特徴の一つとして、Asian Business Association、Graduate Finance Association やNYU内の研究機関であるCenter for Japan-U.S. Business and Economic Studies (以下、「Japan Center」) 等、学内の他クラブ・他組織と積極的に協働したことが挙げられます。学内のリソースを活用することで、より多くのイベントを企画し、より多くの学生をイベントに招待することができました。

2-1. Japan Trek 2009

Japan Trek とは、JBA が、10 日間の Spring Break (3 月中旬の春休み) を利用して、日本のビジネス・文化を広く知って貰うために、MBA 学生を対象に催行している Study Trip です。90 年代半ば以降、一時中断しておりましたが、4 年前より再開し、過去の Trek の好評と JBA メンバーが一丸となったプロモーション活動が奉公し、参加者を増やしてまいりました。Spring Break 中には、Japan Trek 以外にもペルー、南アフリカ、東欧等への Trip も企画されておりますが、Japan Trek にあまりに人気が集まっていることから、今年度は、学校側から人数制限がかかりました。この結果、参加人数は、前年度の 160 名からは減少しましたが、依然として、400 名超の一年生のうち約 4 分の 1 が参加する当校最大のイベントです。

表 3: Japan Trek 参加人数推移

2005 年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年
60 名	72 名	119 名	160 名	100 名

今年度の訪問地は、東京、豊田、大津 (温泉)、京都、大阪の五箇所。Trek 期間中は、企業訪問のみならず、屋形船や温泉旅館での宴会、相撲観戦や市内観光等も実施し、日本の伝統文化に触れる機会を数多く提供しました。また、Alumni との交流パーティも実施いたしました。

本年度の Japan Trek の特徴として、企業訪問の充実が挙げられます。前年度の訪問企業数は 4 社でしたが、本年度は、金融庁、資生堂、ソニー、東京三菱 UFJ 銀行、トヨタ自動車、パナソニック (五十音順) の 6 社を訪問しました。Trek の参加者は、6 社のうち 3 社(トヨタ自動車は全員、ソニー又はパナソニックのうちから 1 社、金融庁、資生堂、東京三菱 UFJ 銀行のうちから 1 社)を訪問しましたが、いずれの企業訪問についても、多くの参加者から好評を得ることができ、Stern Community ひいては日本国外の広い人的ネットワークの

間において、訪問対象企業のみならず、日本の産業・企業に対する理解・認知度の向上、イメージの向上の成果を上げられたものと考えております。

金融庁においては、国際金融に詳しい国際担当審議官より、各国の金融監督体制の相違点から今般の金融危機の概況・原因、日本の金融機関への影響と日本政府の対応等について興味深いレクチャーを受けることができ、参加者も強い関心を持って聞き入っていました。また、同庁に勤務する日本人 Stern アルムナイの配慮により、FRB に勤務する Stern アルムナイからサマーインターンシップ機会についてのメッセージも寄せられ、その歓待ぶりに参加者の多くが感銘を受けている様子でした。

資生堂においては、同社のグローバル戦略に対するプレゼンテーション及び我々が資生堂のマーケティング担当になったとの仮定をおいてのインタラクティブなディスカッションという大変充実した訪問となりました。参加した学生からは、本訪問が同社初の MBA 学生の受け入れであるにもかかわらず、実際に同社において海外政略を担当されてい方々との活発な議論をさせていただく等大変充実した内容であったとの感想と、貴重な機会を提供していただいたことに対する感謝の言葉を得ております。

ソニーにおいては、品川本社の豪華なショールームで最新のオーディオ技術をインタラクティブに体験できる機会を得たところ、参加者は映像の美しさや斬新な技術、アイデアに驚いた様子がうかがえました。日本企業に対するハイテクといイメージを実際に自分で体験することができ、参加した学生は大変有意義な体験をすることができました。

東京三菱 UFJ 銀行においては、当校の訪問が同社にとって初めての MBA 訪問の受け入れとあって、同行のグローバルな展開及び今後の方向性に関する積極的なプレゼンテーションを聞くことができた他、ディーリングルームも拝見できるなど充実した訪問となりました。また、同行がモルガン・スタンレーに出資したことを受けて参加者の間にも同行に対する関心が高まっていたところ、人事部の方から、ニューヨーク支店における今夏のインターンシップ受け入れの意向が示され、昨今の金融危機で金融業界におけるサマーインターンシップの機会に限られる状況下において、参加者にも予期せぬ収穫があったものと思われま。

トヨタ自動車においては、昨今の急激な景気後退に伴う厳しい減産体制下にあった為、いくつかのグループに分かれて行われた工場見学の際に、グループによっては生産ラインが止まってしまっていたという残念な面もあったものの、長時間に亘ってトヨタのグローバル展開、及び技術・ものづくりに対する情熱的なプレゼンテーションを受けることができ、大変勉強になりました。また、同時に行われたトヨタ館の拝観でも、同社の技術、環境対策への取組みに対する参加者の高い関心がうかがわれました。

パナソニックにおいては、東京お台場のショールームにて、最先端のコミュニケーションツールの体験、開発中テレビ技術のデモンストレーションを拝見することができ、参加者からは驚嘆の声が上がりました。また、同社の概要、環境技術への取組み等について丁寧なプレゼンテーションをいただき、Q&A セッションでは、眼前でみた製品、技術に対する質問、今後の成長戦略に関する質問、さらには日本的な社風に対する質問などで盛り上がりました。参加者一同、同社からの温かいおもてなしに感銘を受けている様子でした。



2-2. Global Business Conference (GBC)

本年 2 月に開催した Global Business Conference は、本年度で 9 回目を数え、Emerging Market をテーマに、様々な講演会やパネルディスカッションが二日間に渡って開催される NYU Stern で最大規模のビジネス・カンファレンスの一つです。今年度は、JBA を含む 10 クラブが共同で企画・運営を行いました。JBA は、1 日目の午前中に行われたアジア・パネルを Asian Business Society とともに担当し、パネル・ディスカッションのテーマ設定、Moderator 及び Panelist の発掘・出演交渉、及び当日の会場運営を行いました。Moderator には、当校の Samuel Craig 教授を、Panelists には、David L. Chu 氏 (ImaginAsian Entertainment, Inc. / Senior Vice President)、Michael Schelp 氏 (Fujisankei Communications International, Inc. / Director)、及び Goran Topalovic (New York Asian Film Festival / Co-director) をお招きし、アジアにおけるメディア業界について議論して頂きました。日本の人気 TV 番組のアイデアをアメリカで売り込む際の苦労話や中国のメディア産業の動向など、親しみやすい内容であった上に、当校にはメディア業界に関心のある学生が多いため、ディスカッション後の Q&A セッションも含め大いに盛り上がりました。

2-3. 企業講演会 (JBA Speakers Series)

JBA では、不定期ではありますが、日本のビジネス・経済のプロフェッショナルの方々にキャンパスにお越し頂き、当校学生に対して講演をして頂いております。

本年 3 月には、「Oriental Economist Report」の編集者である Richard Katz 氏をお招きし、「Why Did America's Cold Give Japan Pneumonia?」と題して日本経済の最近の動向について講演して頂きました。Japan Trek 2009 に参加する学生が、日本経済の予習のために数多く参加しました。本講演会は、Japan Center の Edward Lincoln 教授と共同で企画・運営を致し

ました。



また、2009年4月には、New Yorkの独立系投資銀行 Sagent Advisors より Andre Hilton 氏及び Erik M. Jensen 氏を招き、日米 M&A 市場の動向及びクロス・ボーダー M&A についてご講演頂きました。M&A という、当校学生にとって非常に関心の高い分野ということもあり大変な盛況ぶりでした。

さらに、5月上旬に、Linkshare の飯田社長をお招きし、ケース・ディスカッションの開催を予定しております。

2-4. New York Market Conference (NYMC)

NYMC は、New York で働く日本人ビジネスパーソン及び MBA 学生の交流の場を提供することを目的とした開催しているカンファレンス及び懇親会です。本年2月に開催した第三回 NYMC では、Panelist として、青木周平氏（日本銀行 米州統括役ニューヨーク事務所長）、木村巖氏（トヨタモーターノースアメリカ グループバイスプレジデント & コーディネーティングオフィサー）及び額賀寛氏（米国三井物産 シニアバイスプレジデント）を、Moderator として丸山博哉氏（格付投資情報センター（R&I）ニューヨーク事務所長）をお招きし、アメリカの個人消費に関するパネル・ディスカッションを行って頂きました。また、懇親会には櫻井本篤氏（在ニューヨーク総領事 大使）にもご参加頂きました。参加者は150名を超え、大いに盛り上がりました。



3. 当校日本人学生の傾向

3-1. 当校日本人学生数の推移

近年、ビジネス・スクール全般の傾向として、企業派遣の縮小やインドや中国からの留学生の増加に伴う日本人枠の縮小により、日本人学生数が減少していると言われています。また、一昨年、英語力テスト TOEFL に Speaking Test が追加されたことで、ビジネス・スクールへ出願可能な点数を獲得する日本人が減り、日本人受験生の減少に拍車をかけてい

ると思われます。

NYU Stern には、90 年代初頭には、一学年に 50 名超の日本人が在籍していたと言われていますが、90 年代半ば以降、減少の一途を辿りました。しかし、近年は 4~7 名で安定的に推移しており、若干の増加傾向にあります。

表 4: 当校日本人学生数の推移

卒業年次	日本人学生数 ^{*1}	うち企業学生数
2007	5	2
2008	6	5
2009	4	0
2010	6	3
2011	7 ^{*2}	n.a.

*1 フルタイム学生のみ。パートタイムの日本人学生は含みません

*2 2009 年 4 月末時点での合格者数ゆえ、実際の入学者は変動する可能性があります

当校日本人学生の私費・社費の内訳を見ると、Class of 2007 は 6 名中 5 名が企業派遣でしたが、Class of 2009 は全員が私費、また Class of 2010 は 6 名中ちょうど半数の 3 名が企業派遣となっております。私費・社費の割合は年毎に大きくばらついているため、Admission オフィスは、企業派遣か否かでは特に優劣をつけず、受験生を審査しているものと思われ

3-2. 日本人学生のリクルーティング活動

JBA は、リクルーティング担当のオフィサーを設け、日本での就職を希望する学生（日本人以外の学生を含む）に対する企業セミナーの案内や就職相談を行っております。また、NYU Stern の MBA 学生の採用を検討されておられる在日本企業の窓口となり、学生との橋渡し役を担っております。今年度の傾向の一つとして、これまで NYU となじみの深かった金融機関やコンサルティング会社に加え、事業会社からのアプローチが増えた点が上げられます。企業戦略部門、海外部門やマーケティング部門の一員として NYU の学生を採用したいという企業が NYU のキャンパスやその周辺で説明会を開催する機会が増えました。さらに、昨年度からの傾向として、日本人在校生が果敢にアメリカのリクルーティング市場にチャレンジする数が増えています。

3-3. 日本人アプリカントのキャンパス・ビジット対応

前述のとおり、私ども JBA は日本での NYU Stern の認知度・知名度の向上をミッションの一つとして掲げており、特に日本人受験生への情報発信は JBA の重要な活動の一つです。情報発信の主な手段の一つに、キャンパスを訪問頂いた受験生の方との交流が挙げられます。具体的には、①在校生とのランチ・Q&A セッション、②キャンパス案内、③授業見学の斡旋を行い、在校生の実体験に基づき、当校のカルチャーやカリキュラム、課外活動に

ついてより深く知って頂く機会を提供しております。本年度の日本人訪問者数は 26 名にのぼり、前年度の 30 名に比べると若干減少したものの、2006-2007 年度の 10 名と比較すると依然として高い水準となっております。また仕事等の都合でキャンパスに訪問することができない多くの受験生の方々からも E メールや電話等でご質問を頂いております。Business School ランキングの上昇や、Alumni の方々のご活躍、また私ども JBA の広報活動により、日本における NYU Stern の認知度は確実に高まっていると認識しております。

表 5: 当校にキャンパス・ビジットした日本人アPLICANT 数

年度	日本人訪問者数
2006-2007	10
2007-2008	30
2008-2009	27*

* 2009 年 4 月末時点での訪問予定者を含む

また、JBA は Stern の Admissions オフィスとも連携し、以下のイベントについて、企画・参加しました。

- 2008 年 7 月 アゴス主催 MBA 夏まつり参加
- 2008 年 10 月 東京での在校生・卒業生による学校説明会および Q&A
- 2009 年 3 月 Japan Trek に合格者及びアPLICANT を招待

3-3. JBA ブログの開設

本年三月、JBA の Alumni と共同で JBA のウェブサイトの新設致しました。当該ウェブサイトには、在校生及び Alumni の Blog を設けており、主に日本人受験生への情報発信を目的としております。Blog では、授業内容、リクルーティング活動から課外活動、NY での生活全般等の様々な MBA 生活のシーンを、在校生が感じ取ったまま、カジュアルな形でお伝えしていく予定です。また、日本における Alumni 活動についても、同 Blog で紹介させて頂いております。開設からわずか二ヶ月しか経過してはおりませんが、既に多くの受験生と思われるの方々からアクセスを頂いております。

JBA サイトの URL: <http://sternjapan.com/>

Japan Alumni のウェブサイト

4. NYU Stern のランキング

近年、NYU Stern の米雑誌等によるランキングは上昇傾向にあり、総合ランキングでは10位前後に位置づけられています。また、強みとされている Finance や Part-time プログラムでは全米でトップ・クラスの評価を得ています。

US News 2009

総合	11 位
Finance	3 位
International	6 位
Accounting	9 位
Part-time プログラム	1 位
EMBA プログラム	7 位

Financial Times 2009 (Global Ranking) 10 位

Business Week 2008 13 位

UTD Research Contributions 2004-2008 3 位

5. スポンサー企業様一覧

(2008年12月末現在、来年度の新規スポンサー含む、アルファベット順、敬称略)

Agos Inc.

Antelope Career Consulting Inc.

AXIOM Co., Ltd.

Booz & Co.

CAREER INCUBATION, INC.

Citi Bank N.A.

Executive Search Partners Co., Ltd

Mainichi Communications USA Inc.

Morgan Stanley Japan Securities Co., Ltd.

Merrill Lynch Japan Securities Co., Ltd.

Nikko Citi Group Securities

The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

The Boston Consulting Group K.K.

UBS Securities Japan Ltd.

以上